非連続型テキストと連続型テキストを組み合わせた主張文を書く

第３学年　国語科学習指導案

１　単元名　　説得力のある文章を書く　（６月中旬）

２　教材　「主張文を書こう」（三省堂３年），企業のＣＳＲレポート数種類（ＨＰからダウンロード）

３　単元のねらい

○　自校の総合学習の課題にかかわる取り組み（環境保護や街づくりなど）についての提言パンフレットを作成することを通して，読み手の関心や自分の主張に適した資料やデータかどうかを検討して，主張文を書くことができる。

（言語活動）

○　目的に応じて様々な文章などを集め，工夫して編集すること。

４　指導計画（全６時間）

第一次	１時間目	自校の総合学習でこれまでに取り組んできたことを確認し，地域や学区の人に提言をしていくことの必要性を確認する。企業のＣＳＲレポートから，企業も自分たちの取組を報告・提言していることを確認する。さらに，どのＣＳＲレポートに説得力があるか，その理由を挙げる。
	２時間目	企業のＣＳＲレポートを次の観点で分析する。①ページの構成を，段落や部分ごとに「要旨」「見出し」「主張」「予想される反論」「具体例」「まとめ」「イメージ」「表・グラフ」などのキーワードでラベリングする。②「表・グラフ」がどこにレイアウトされているかを検討する。③同様に「主張」がページのどこにレイアウトされているか，「主張」を支える「具体例」はどこにレイアウトされているかを検討する。
第二次	１時間目	これまでの総合学習の取組を「主張」「わかったこと」「予想される反論」「具体例」をキーワードに各１０個程度，付箋紙を使ってマッピングする。
	２時間目	マッピングしたものを基に①自分にとっての重要度②読み手にとっての重要度のマトリックスで分析をする。マトリックスで最重要となったものを題材として選ぶ。次に班のメンバーから①正確性②中立性③明瞭性から「主張」「これまでの取組でわかったこと」「予想される反論」「具体例」について意見をもらい，修正をする。
第三次	１．２時間目	ワープロソフトを使い，レイアウトを行う。

５　指導の構想

国語を学ぶよさは「表現を味わったり吟味したり，自分の思いを表現したり考えを伝えたりすることを通して，自分の言語生活を広げたり，充実させたりする楽しさを実感すること」にある。したがって，表現の活動においては，単一方向であったり，自己満足的な表現であったりしてはならない。したがって，他人に説明をする上で重要なことは，①何を伝えるのか，②どこまで伝えるのか，③どのように伝えるのかの三点である。

①の何を伝えるのかについては，自分にとって重要度があるだけでなく，読み手にとって重要度のあることを選別することが必要である。このことにより，コミュニケーションの意味を飛躍的に増大させることにつながる。

②のどこまで伝えるのかは，「情報に過小評価・過大評価がされていなく，情報利用者が確信をもって意思決定ができる」ことが必要である。このためには，正確性，中立性が必要である。

③のどのように伝えるのかは，「情報を理解するのにすべての読み手が，同じ経験をしてきているわけではない」ことを前提して，なるべく幅広い層に理解してもらえるような明瞭性が必要である。

これらの，いわゆる「ふるい」にかけて，情報を整理し，レポートを作成することとする。そして「ふるい」にかけるのに適した題材として，中学校の３年間で多くの経験をしてきており，自分なりに考えを持ってきた「総合的な学習の時間でわかったこと」を設定した。また，「ふるい」にかける上で，ラベリング，マトリックスやマッピングを使い，仲間からも意見をもらいやすくした。なお，今回の授業案では掲載していないが，総合的な学習の時間を利用して，作成したパンフレットを，実際に地域の方から読んでいただき，感想をもらうようにしたい。

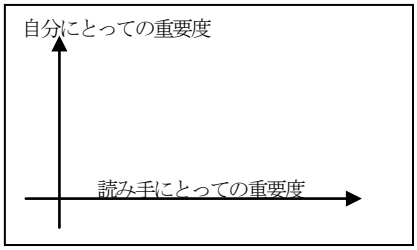
６　本時の指導

（１）本時のねらい（４／６時間目）

○　①自分にとっての重要度②読み手にとっての重要度のマトリックスに記入することを通して読み手と自分にとっての重要度から題材を選択することができる。

○　①正確性②中立性③明瞭性から自分の主張に適した資料やデータかどうかを検討して修正をすることができる

（２）展開

教師の働き掛け	学習活動と予想される反応	評価と留意点
自分にとっての重要度と読み手にとっての重要度のマトリックスが描かれたワークシートを配布する。 指示「付箋紙のうち,『わかったこと』『主張』のものを，ワークシートのマトリックスに，予想でかまわないので該当するところに貼りなさい。」 （思考力・判断力を育成する）	 「地域の交通事故を減らすようにしたい」と「ゴミのポイ捨てをなくすようにゴミ箱を増やしたい」はどちらが，地域の人にとって重要なのだろうか？	◇読み手と自分にとっての重要度から題材を選択することができる。
説明「できあがったマトリックスの中で一番右上にあげた内容がパンフレットに一番適した題材です。それをパンフレットに書きましょう。」 指示「その題材に関する資料や具体例，予想される反論を，ワークシートに貼りましょう。その内容について，次の観点から班の人に意見をもらいましょう。観点は①正確性②中立性③明瞭性です。では，仲間から，その三観点から，不足している点や直したほうがよい点を指摘してもらいなさい。全部において合格と班の人が言ったら，わたしのところにもってきなさい。」 （表現力を育成する）	「中学生はもっと地域のお祭りに参加したほうがいい」の方が，「地域の特産品を作ろう」よりも重要だと思う。 「ここには小学生が読んでもわかるようにグラフを付け加えたほうがよい。」 「最近ポイ捨てのゴミが増えているとあるが，本当にそうなのか？」 「交通事故が増えているとあるが，本当なのか。それは自動車が多くなったからなのか。」 これらの意見を基に，自分の伝えたいことを修正する。	・①正確性とは，報告内容が精密かつ過ちの少ないものにすること。②中立性とは偏見がないことや，意図的に情報を隠したり，過小評価や過大評価をしたりしないこと。この①と②で読み手が確信を持って意思決定をすることができる。③明瞭性は，報告書を理解するのに読み手のすべての人が同じだけの経験をしてきていないことを前提としている。そのいずれの人が読んでもわかるものにしなければならない。

		◇班の人の意見を基に, 不足している点や直さなければならない点を修正できる。